

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年4月25日から2004年5月01日の週

目次

週間ハイライト

| | |
|----------|---|
| 国際 | 4 |
| 韓国 | 4 |
| 中国 | 5 |
| 香港 | 5 |
| 米国 / カナダ | 6 |
| 欧州 | 7 |

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性及完全性についていかなる表現もいたしません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年4月25日から2004年5月01日の週

週間ハイライト

国際

ハードウェア

- シスコ・システムズとエリクソンはインターネットを基盤としたネットワークへの移行を見据え共同で国際的電話会社に機器を販売することで合意。3年後には売上高増大が期待される。
- LG 電子とフィリップス電子はLCD パネル製造子会社の株式を新規公開。LG フィリップス LCD は韓国とニューヨークの証券取引所に第三四半期中に上場される予定。昨年の市場占有率は世界首位。
- 富士通はプラズマ・スクリーン技術の特許侵害だとしてサムスン電子を訴える。日本の税関はサムスン製品の輸入を差し止めた。韓国政府はこの件を WTO に持ち込むを脅している。

IT

- 無線周波数認識票 (RFID) 付商品が小売店で販売される。消費者家電 8 社からウォールマート 7 店舗に商品が搬入された。2005 年 1 月には消費者家電 100 社が参加、2006 年末には全社が参加。

韓国

ハードウェア

- サムスン電子の3月のLCD売上高は8億6000万米ドルと史上最高を記録しLG フィリップス LCD (LPL) を追い抜き首位に立つ。第一四半期の売上高24億米ドルでLPLの19億米ドルを上回った。

モバイル/無線通信

- SK テレコムは加入者 90 万以上が電話番号移動可能制度で他の小規模携帯電話会社に移動。KFT への加入が 532,900 件、LG への加入が 383,100 件。1 日平均の移動件数は 8,000 件。
- SK テレコムは法人用無線通信プログラムで SAP との協力を合意。両社は無線通信用 OS 利用で覚書を交わした。SAP は独立系として世界第三位のソフトウェア会社。

半導体

- ハイニクス半導体の第一四半期純利益は3億410万米ドル。前年同期は8億5210万米ドルの赤字だった。売上高は前年同期の5億8090万米ドルから11億米ドルとほぼ倍増した。

通信

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年4月25日から2004年5月01日の週

- SK テレコムは第一四半期純利益は販売費用の増大を無線インターネット・サービスの増収が相殺し微増。純利益は前年同期比 1%増の 3 億 8720 万米ドル。売上高は 7%増の 20 億米ドル。
- 固定回線売上高増大と費用削減でデーコムは第一四半期決算は 1280 万米ドルの純利益と黒字転換。固定回線部門の売上高は前年同期比 8.2%増の 2 億 2110 万米ドル、営業利益は 3380 万米ドル。

中国

ハードウェア

- TCL の第一四半期純利益は前年同期比 55%増の 3240 万米ドル。売上高は 5 億 1670 万米ドル。海外売上高は 95%増加した。今年は海外で 940 万台、国内で 450 万台のテレビを販売する計画。

インターネット

- 中国政府はここ 2 ヶ月で 8,600 のインターネット・カフェを閉鎖。文化省の特命局が担当している。中国は米国に次いで世界第二位にあたる 7950 万人のインターネット利用者を持つ。

モバイル/無線通信

- チャイナ・モバイルは 10 省の携帯電話運営会社を 37 億米ドルで買収し中国全土に携帯電話網を保有する唯一の会社となる。国営会社から 20 億米ドルの現金と 17 億米ドルの劣後債で買収する。
- TCL の携帯電話製造部門とフランスのアルカテルは携帯電話製造で 1 億 1830 万米ドルの合併事業を設立する予定。TCL が 40.8%株式を保有する TCL 通信が 55%、6590 万米ドル出資する。

半導体

- 上海の BCD は 3 回目のベンチャー・キャピタル融資で 5000 万米ドルを調達する予定。調達手取金は設備投資に使われる。BCD は中古機器を利用して国内用に半導体チップを生産している。

通信

- 中国本土の株式に対する投資家の疑念が膨らむ中、チャイナネットコムは新規公開の規模を縮小し、上場を 2 ヶ月遅らせる予定。資金調達額は 20 億米ドルから 15 億米ドルに減額された。

台湾

ハードウェア

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年4月25日から2004年5月01日の週

- エーサーの第一四半期純利益は前年同期比で 110.3%増加し 4170 万米ドル。売上高は 63%増加し 15 億米ドルだった。2004 年通年の純利益予測は 2 億 2060 万米ドル、売上高予測は 61 億米ドル。
- AU オプトロニクス社の第一四半期純利益は 3 億 5210 万米ドル。売上高は 4 億 3070 万米ドルだった。2004 年通年の純利益予測は 13 億米ドル、売上高予測は 56 億米ドル。

半導体

- TSMC の第一四半期純利益は前年同期比 4 倍以上の 5 億 6510 万米ドル。売上高は 46%増の 17 億米ドル。粗利益率は 39.5%に上昇した。純利益率は前年同期の 27.7%から 32.7%に増加した。
- ユナイテッド・マイクロエレクトロニクス社の第一四半期純利益は前年同期比で 16 倍以上の 2 億 800 万米ドル。売上高は 41.5%増加して 7 億 6130 万米ドル。
- チップ検査及び梱包のアドバンスト・セミコンダクター・エンジニアリングの第一四半期決算は黒字転換して 4930 万米ドルの純利益。売上高は 5 億 1760 万米ドルだった。
- TSMC は米国でまた訴えられる。米国のユニラム・テクノロジーは TSMC を特許権侵害で訴えた。TSMC はユニラムの企業秘密をモノリシック・システムに漏洩したとしても訴えられている。

通信

- チュンファ・テレコム社の第一四半期純利益は前年同期比 19.5%増の 3 億 9050 万米ドル。売上高は 13 億米ドルだった。2003 年通年の純利益は 14 億米ドル、売上高は 54 億米ドルだった。

香港

インターネット

- 世界 150 カ国以上でインターネット接続をするプロバイダーの i パスはアジア太平洋の新拠点に香港を選ぶ。これまではシンガポールが拠点だった。

モバイル/無線通信

- ハチソン・ワンポアはハチソンが保有する殆ど利用されていない CDMA 周波数帯を没収し再度入札にかかる意向の通信監督官庁 (OFTA) を訴える構え。ハチソンは割当周波数帯を利用する意向。

米国/カナダ

ハードウェア

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年4月25日から2004年5月01日の週

- IBM はコンピューター・サーバーの一部にシスコのスイッチ・モジュールを内蔵することでシスコと合意。両社は1999年以來コンピューター・セキュリティ、データ保存等で提携している。
- フレクストロニクスは3月末迄の決算第四四半期純利益は前年同期の1950万米ドルから1600万米ドルへと減少。売上高は前年同期の31億米ドルから38億米ドルへと増加した。

IT

- エレクトロニック・データ・システムズの第一四半期決算は赤字幅が前年同期比で減少し1200万米ドル。売上高は前年同期の52億米ドルから4%増加し54億米ドルだった。

インターネット

- ゴーグルは新規公開にオークション方式を採用し推定で27億米ドルを資金調達する見込み。個人投資家に株式が行き渡る確率が高くなり、上場当日に大きな利益を得る確率が低くなる。
- パーンズ&ノーブル・ドットコムは個人情報漏洩についてニューヨーク州政府当局と合意。B&Nは個人情報保護体制を整え、外部監査人を指名する。また罰金6万米ドルを支払う。
- マークモニターとサイオタは法人用に迷惑メールがインターネットに現れ次第素早く認識し損害を最小限に止めるサービスを提供。消費者は個人情報を開示してしまった結果被害にあっている。

メディア、娯楽、ゲーム

- エレクトロニック・アーツの決算第四四半期は純利益が10倍近くになり9000万米ドル。前年同期の利益は7200万米ドルの特別損失後で920万米ドルだった。売上高は5億9840万米ドル。
- コムキャストはウォルト・ディズニーの株主と取締役会の反対で487億米ドルのウォルト・ディズニー買収計画を断念。第一四半期の収益は好調で10億米ドルの自社株買も発表した。
- コックス・コミュニケーションズはアデルフィア・コミュニケーション（AC）全体の買収には興味を示さず。ACが分割された場合には部分的に買収する可能性がある。
- コムキャストはディゲオが設計した最新受像補助機器を使用する計画。4万台を試験的に使用する。製造はモトローラ。この機器はモクシと呼ばれリナックスOSとインテルのチップを利用。
- デイッシュ・ネットワークの親会社のエコスター・コミュニケーションズはターナー・ブロードキャスティング・システムとの契約についての問題を一時的に解決。契約は基本的に継続する。
- 初年度でアップル・コンピューターのオンライン楽曲店舗は7000万曲以上を売り上げる。当初目標の1億曲は下回ったが、競合他社を全て上回った。

モバイル/無線通信

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年4月25日から2004年5月01日の週

- パームワンはソフトウェア部門のPalmソースを昨年切り離して以来始めて新製品を2種発売。販売価格が299米ドルのZiia 72と149米ドルのZiia 31。カラー画面とマルチメディア機能付。

ソフトウェア

- シマンテックの4月2日迄の決算第四四半期純利益は前年同期比72%増の1億1690万米ドル。売上高は43%増加して5億5640万米ドルだった。2005年度通年の売上高予測は23億米ドル。
- マクロメディアの四半期純利益は前年同期の690万米ドルから1470万米ドルに増加。ウェブ・デザイン・ソフトウェアと新製品の売上が増大したため。
- オラクルのピープルズソフトに対する94億米ドルの敵対的買収提案は米国司法省が独占禁止法違反で差し止め。競争が緩和されるため。法人用ソフトウェア市場の規模は約300億米ドル。

通信

- MCIは今年度赤字との予測を発表したが、2003年は破産による会計処理の結果222億米ドルの黒字を計上。MCIが破産法の適用申請をしたのは2002年。数週間以内にナスダック上場申請の予定。
- 地域電話会社4社はケーブル・テレビとの競争に重要だと認識し衛星テレビ会社と契約に調印。4社はテレビ番組と携帯電話サービスを顧客に提供する。高速インターネットも機能強化する。
- ベライゾン・コミュニケーションズの第一四半期純利益は16億米ドルと前年同期比の19億米ドルから減少。売上高は3.9%増加し171億米ドル。ベライゾン・ワイヤレスの売上高は21.2%増加。

欧州

インターネット

- テラ・ライコスが米国部門のライコス売却の可能性があるのでアドバイザーとしてリーマン・ブラザーズを指名。テラはライコスを2000年に125億米ドルで買収したが現在簿価は9550万米ドル。

メディア、娯楽、ゲーム

- アタリ・ブランドを保有するインフォグラムスは映画題材のビデオ・ゲームを今年は発売しないと発表。映画題材ビデオ・ゲーム市場の市場規模は2008年には334億米ドルと見られている。
- EUの監督官庁はオリンピックの組織委員会と放送局にこの夏のアテネ・オリンピックでの生映像放送権入札過程において携帯電話やインターネット運営業者を公平に取り扱うよう要請。

モバイル/無線通信

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年4月25日から2004年5月01日の週

- **ノキアの世界での市場占有率は1年で5%以上減少。**昨年第一四半期は34.9%の市場占有率だったが、今年第一四半期には29.2%に落ち込んだ。
- **アルカテルの第一四半期決算は3年振りに黒字転換。**前年同期の赤字5億5200万米ドルから、1億5950万米ドルの黒字となった。売上高は7.4%減少して33億米ドルだった。

ソフトウェア

- **欧州最高法廷が知的所有権の共有を企業に課すのは公正だがその前提条件は限定されるという判断に対しEUもマイクロソフトも勝利宣言。**マイクロソフトは厳しい前提条件を希望している。

通信

- **フランス・テレコム**の第一四半期決算はインターネット部門と携帯電話部門の成長により136億米ドルの売上高で前年同期比0.6%増。2003年第四四半期は4%の、通年では1.1%の減収だった。